



すみません。長居検査員。  
工事検査経験が豊富と伺いましたので、これまでの検査経験から、  
工事検査時に多い受注者等への注意点や改善すべき点、及び  
検査員として、特に注意すべき視点等があれば、教えて頂けませんか？

はい。これから、大丈夫ですよ。  
若井検査員。



私、工事検査していく上で、是非知りたいです。  
特に、注意して検査すべき視点となるので、有り難いです。  
まず、『工事検査時に多い受注者等への注意点や改善すべき  
点』について、事例があれば、教えて下さい。

意外と多いのが、Co構造物のスペーサーブロックの配置密度です。  
共通仕様書では、底版には「1㎡当たり4個以上」と明記  
されているにも係わらず、一部の工事で、「不足している」  
と思われる構造物が、見受けられました。



具体的には？

現場代理人に、「配置の考え方」を確認したところ、  
『1㎡四方の角に配置している』との回答が、多かったですね。  
この考え方では、配置密度が「1㎡当たり1個」にしかありません。  
正しくは、『0.5㎡四方の角に配置』となります。  
意外と知らない監督員も多く、個数は、段階確認を受けなければ  
なりませんが、相互に認識不足だったら、ダメですね。



そう言われてみれば・・・。  
出先で、監督員から復命される「確認・立会結果書」の写真は、  
配筋スパンや、鉄筋径をノギスで確認している写真ばかりでしたね。  
担当主任等も、特に若い監督員へは、現場で良く指導すべきですね。

それと、コンクリート構造物での Co打設時間管理です。  
共通仕様書に、外気温によって、「練混ぜてから打ち終わる  
までの時間」の制限が明記されているにも係わらず、  
正しく、時間管理・温度管理をしていない受注者が多いです。  
秋口以降は、明らかに 25℃以下であることは確実であっても、  
施工管理としては、外気温による時間管理をすべきです。



具体的には、「練混ぜてから打ち終わるまでの時間」が、  
●外気温が、25℃を超える場合は …… 1.5時間以内  
●外気温が、25℃以下の場合 …… 2時間を超えない  
と、共通仕様書 I 第1編 共通編「3-6-4 打設」に記載されてます。



先日、検査した現場では、「時間管理表」が整理されていましたよ。  
それがあれば、大丈夫ですね？



では、その時間管理の確認方法を、伺ってもよろしいですか？  
時間管理表の右端に、たぶん「打設完了時間」の欄があって、  
Co打設完了時間が記載されていたと思います。  
その場合、その「打設完了時間」は、何で確認しましたか？



特に、Co打設完了時間の確認は、していません。  
受注者の記載時間を、信用していましたから。



私は、「Co打設完了時間」の根拠を、確認しています。  
回答事例では、『野帳に書いています』が多かったですが、  
野帳は持参していないので、打設完了時間の確認はできません。

一般的には、「納入書」の下段余白に、  
打設完了時間や外気温が手書きされていれば、確認できます。  
私は、次に活かして欲しいため、検査しながら、  
その「手書き事例」を紹介しています。



なるほど。ありがとうございます。とても参考になりました。  
スパーサーブロックの個数や時間・温度管理以外で、  
コンクリートに関して、他に何か事例は、ありますか？



コンクリート設計強度と承認願及び「納入書」との  
関係での事例も、幾つかありましたね。  
それは、次回にお話ししましょう。

\*\*\*\*\*

## ●本日のポイント

受注者は、スパーサーブロックの個数を、鉄筋組立完了時の段階確認時に、確認を受けなければなりません。〔共通仕様書Ⅰ 第1編 共通編「3-7-4 組立て」第3項に記載されています。〕

また、検査時に、コンクリートの設計と承認及び納入書との整合を確認する場合もあるので、監督員は、納入書を検査会場に持参するよう、受注者にお願いして下さい。

### 【登場人物の設定】

○福島県 出納局 工事検査課



：長居(カ)検査員



：若井(カ)検査員